

# 屋久島農業普及だより

[編集発行]

屋久島事務所農林普及課農業普及係

屋久島町安房650 TEL:0997-46-2236 FAX:0997-46-3384

## 写真でつづる 普及活動 この1年

屋久島事務所農林普及課では、今年度4つの課題を設定し、普及活動を展開してきました。ここでは、その取り組みの一部を写真で紹介します。

### 屋久島農業を支える担い手農家の育成

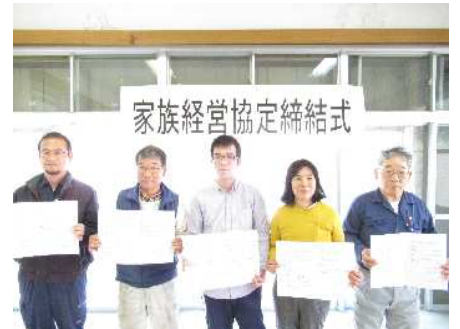
屋久島農業を担う経営体を育成するため、認定農業者の経営改善支援や地域営農のしくみづくりを支援しています。



認定農業者研修(9月)



認定農業者先進地研修(10月)



家族経営協定調印(4月)



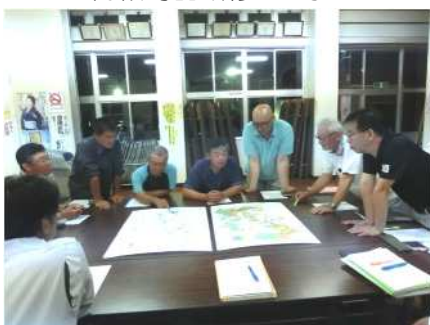
初級簿記研修(6月)



税務研修会(9月)



複合経営モデル育成(11月)



原地区 ビジョン会議(年9回)



原地区ポンカン品評会(12月)



原地区農業施設現地点検(1月)



## 屋久島を創造する次世代リーダーの確保・育成

青年農業者のプロジェクト活動や新規就農者の支援・受入体制の整備，女性農業者を支援しています。



4Hクラブ先進地視察研修(12月)



青年農業者会議(8月)



新規就農者励ましの会(9月)



新規就農基礎講座(8月)



新規就農対応マニュアル打合せ(1月)



食の文化祭(9月)

## 屋久島の特性を活かした産地育成

### (1) 畑作物の生産性向上

畑作物の規模拡大による農家の経営・技術を支援しています。



さつまいも病害の低減対策検討(11月)



ばれいしょの新品種検討(11月)



K-GAP実践支援(ばれいしょ)(1月)

### (2) 果樹の生産性向上

たんかん・ぽんかんの品質・生産性向上を支援しています。



たんかん隔年結果対策スタート(6月)



かんきつ幼木の栽培管理支援(11月)



現地就農トレーナー研修(1月)



(3) 畑地かんがい等を活用した環境に優しい茶産地育成  
栽培・製造技術の改善や安心・安全な茶づくりを支援しています。



一番茶互評会(5月)



秋芽研修会(10月)



畑かん先進地研修(11月)

(4) 屋久島型放牧による肉用牛産地育成  
規模拡大や繁殖牛管理、子牛育成技術の向上を支援しています。



飼料作物の実証調査(5月~)



和牛振興会研修会(6月)



畜産共進会での飼養管理指導(8月)

## 屋久島の農林水産物を活かした6次産業化モデルの育成

6次産業化に向けた基本知識技術の習得を支援しています。



6次産業化セミナーの開催(7月, 8月, 10月)



6次産業化プランナーによる個別相談会(8月, 10月)

# 果樹スマート農業最前線

## 1 はじめに

屋久島では、実証農家、町、JA、屋久島事務所で『屋久島地区スマート農業推進協議会』を設立し、研修会の開催や現地実証に取り組んでいます。今回は、三重県のスマート農業の先進事例を紹介します。



カラ（カラマンダリン）

## 2 JA三重南紀カラ部会の取り組み

### (1) 課題

- ・現状把握が不十分で、園地の場所や栽培管理の状態が不明。
- ・生産振興のために苗木の配布を行ったが、生産量がなかなか上がらない。

ほ場管理システムの導入、写真と位置データを記録するアプリの活用

### (2) 成果

- ・指導員と生産者が情報共有できるようになり、選果データ等とリンクし、ほ場単位で改善に取り組むことができるようになった。
- ・写真データをもとに管理状態と場所を確認し、す上がりや鳥獣被害がありカラの適地でない園地は、他品種へ改植を進める。

ほ場単位の改善により、経営全体の所得向上、さらには産地全体の発展へ！

## 3 気象観測装置と連動した多目的スプリンクラーの運用による高品質果実生産



気象観測装置で温度湿度等を測定



果面温度計とスプリンクラーが連動して日焼け果を防止

このほか、土壌水分計とドリップチューブを連動させ、内容品質の向上に活用していました。

## 4 最後に

スマート農業機器は価格が高いものもあり、効果に見合った投資なのか慎重に検討する必要があります。当協議会では、今後も屋久島の農業に適したスマート農業の実証活動を進めていきます。

(担当：濱上)



## 農山漁村女性活動功労者表彰

### 農山漁村女性活動功労者表彰

令和元年11月21日、県民交流センターにおいて、県農山漁村女性活動功労者表彰式が開催され、屋久島町楠川の藤原典子さんが組織活動部門で受賞されました。

藤原さんは長年に渡り、屋久島生活研究グループのリーダーとして、生活改善や地域活性化に尽力されています。

また、(株)屋久島宮之浦加工グループにも所属し、果樹や我が家で生産されるお茶の加工品づくりを通じて、屋久島の魅力を島内外に発信しておられます。

今後も農業振興や地域活性化に引き続き取り組みたいと決意を新たにされておられました。

\*『農山漁村女性活動功労者』とは、農山漁村の女性が生産活動や地域活動のあらゆる場に参画し、積極的に能力を発揮しながら活動できる農山漁村の環境作りなどにより、地域活性化に貢献した方に贈られるものです。



## (有)宝珠産業が堆肥コンクールで県知事賞を2年連続受賞！

令和2年2月6日、ホテルウェルビューかごしまにおいて、県堆肥コンクール表彰式が開催され、屋久島町安房の有限会社宝珠産業（南部堆肥センター、代表：藤山通孝さん）が県知事賞（最優秀賞）を受賞されました。今回で、県知事賞は2年連続、通算4回目の受賞となりました。

(有)宝珠産業が生産する堆肥は、牛糞を主体に生ゴミ等を添加した混合堆肥で、出品点数45点の中から、色・臭気・品質等を審査され、最高成績で選定されました。

藤山さんは「審査結果をもとに、さらなる良質堆肥の生産に取り組みたい。」と今後の抱負を語られました。

今後も、屋久島産堆肥を活用した、循環型農業の展開が期待されます。

